

 南房総市社会福祉協議会広報紙

てんだあ 第20号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2012年3月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>

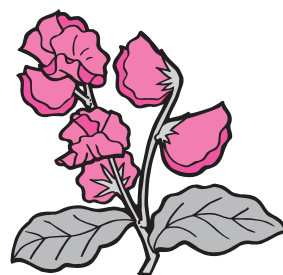


C ONTENTS ~主な内容~

- 第6回南房総市社会福祉大会 …… 2P
- 福祉作文、ボランティアフェスタ …… 3P
- 福祉ニュース …… 4P
- 地域福祉フォーラムレポート …… 5P
- ボランティアネット(和)ーク …… 6P
- ワンポイント介護 …… 7P
- 善意の寄付、ちょっといい話 …… 8P

そろってニコニコ笑顔で

デイサービスしらはまでは、日頃利用している方たちがみんな集まり新年のお楽しみ会を開催。歌あり、踊りありと特技を披露し笑いいっぱいの楽しい一日となりました。



スイートピー
花言葉：思い出



この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

震災から考える地域のつながり

第6回 南房総市社会福祉大会

2月25日(土) 千倉保健センターを会場に第6回南房総市社会福祉大会が「住民参加とふれあい支えあいのある心豊かなまちづくり」を目指し地域の方々とともに社会福祉活動の一層の推進を誓い開催されました。

今回は、3月11日に発生した東日本大震災をふまえ「震災から考える地域のつながり、あの日を忘れない」をテーマに開催されました。

大会では、社会福祉に貢献された方への感謝の表彰、市内の小中学校の児童・生徒から心温まる福祉作文の発表、災害支援活動されたボランティアさんからの活動報告、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会に呼びかけ、大会と同時開催のボランティアフェスタの出店があり、その売り上げの一部は被災地義援金としてご協力いただきました。

当日は、寒い中多くの来場者もあり、盛況のうちに幕を閉じました。



地域福祉活動功労者の表彰

◆表彰された皆様おめでとうございます。

南房総市社会福祉協議会長表彰

【地域福祉活動功労者】

八代利之様、目黒輝彦様、松本貢様、川名松枝様、堀江良子様、金井好子様、三浦壽美江様

【地域福祉功労団体】

南房総市立平群小学校様(富山地区)、手話の会「しらほま」様(白浜地区)、つくし会様(千倉地区)、北三原地区小域ボランティア様(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状

君津信用組合様(木更津市)

南房総市社会福祉協議会福祉作文表彰

最優秀賞 座間聖斗さん(南房総市立富浦小学校)、優秀賞 小原美由紀さん(南房総市立和田小学校)、正木莉奈さん(南房総市立和田中学校)

～被災したその時生まれた世代をこえた思いやりの心～

パワフルな記念講演

矢崎 由美子氏(阪神淡路大震災語り部)

記念講演では「阪神・淡路大震災から以後、私が見た思いやりの心と福祉のまちづくり」と題し、今から、17年前の1月17日に発生した阪神大震災の被災者の一人として神戸市芦屋出身の矢崎由美子さんから阪神大震災での実体験をお話いただきました。

被災された当時の様子を振り返り、「マンションの10階に住んでいたが、地震は家具が倒れるという常識と違い、タンスを始めとした家具類は全て天井に舞いミキサーにかけたように粉々になり、部屋中がごみ屋敷のようでした。マンションは鉄筋コンクリートなので外観は崩れていないため救助は1軒家に比べ遅くなり、玄関のドアが開かず半日後にやっと外へでることができました。

避難所に行くまでの間、道路にはアスファルトに亀裂が入り壊れた排水管から水が溢れ出し、そこへ倒れた電柱の切れた伝線が引火し火事を引き起こしたり、靴がないためにガラスの破片で怪我をする方もいました。

指定された避難所は、すでに一杯であったため近くの保育園を避難所として過ぎしました。避難所には子どもから高齢者までいました。そこで高齢者が活躍し、水道も電気も情報も無いなか、がれきの中から木材を探して、湯を沸かし救援物資が来るまでの間、高齢者の知恵袋を使い乗り切ることができました。子どもたちも、より幼い子どもの面倒を見るなど自然の中で生まれた、思いやりの心で避難所で自分の役割を果たしていました。

この阪神大震災以降、自分たちにできる支援として感電やガラスの破片から足を守るため、履けなくなった長靴を被災グッズの一つとして被災した地域への寄付活動を続けています。」

実体験を元にお話されているため説得力は勿論のこと、明るい人柄のせいか悲壮感に会場が包まれることもなく、被災者であり生き残った者の使命として語り続けたいと話す矢崎さんに生きていく力強さを感じました。



力強く被災体験を語る矢崎さん

南房総市ボランティアの

災害支援活動の報告

東日本大震災で被災地の復興に携わった時の様子をお話いただきました。



木曾 修さん
(あすなろ会)

福島県東松島市へ5月14、15、16日の3日間汚泥の除去の活動に参加



笠井美智子さん
(つくし会)

7月の宮城県石巻市慰霊祭に竹燈を灯す活動に参加



育まれる“福祉の心” 福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが「おもしろい、やさしい心」をテーマとした作文 335編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

「ひいばあの手」 南房総市立富浦小学校 6年 座間 聖斗さん

ぼくには九十五才のひいばあがいます。ひいばあの手は、節くれだった手をしていて、いつも草取りをしています。九十五才なのに朝から晩まで一生けん命に仕事をしています。文句も言わず、かぜもひかず働くひいばあのことを、ぼくはすごいと思います。

ひいばあの手は、ぼくと同じくらいの大きさです。なのにいるんことが出来ます。さいほうをしたり、料理をしたり、ぼくには出来ないことがたくさん出来ます。

ひいばあの手は、とても温かいです。泣いている赤ちゃんなんかを抱くと、なぜか泣きやみます。ぼくも小さいころ泣くと、よく抱いてもらったそうです。とても安心感のある優しい魔法の手です。

ひいばあの手は、しわくちゃです。でも、そのしわの数だけ、いろんな経験をしているということです。

例えば、大正末期に起きた関東大震災です。その時、ひいばあは、まだ八才でした。立ってられないほどすごかったそうです。家はつぶれずにすんだようですが、地割れが起きて、そこに友達が落ちて死んでしまった悲しい経験もあるようです。そして周りでは火災が起きたりと、大変なさわぎだったそうです。そして二〇一一年三月十一日の東日本大震災が起きました。ひいばあは、今はとてもつらいけど必ず立ち上がる、日本は強いからと言っていました。二つの震災

を経験している強さを感じました。

そして、もう一つ。ぼくたちの知らない戦争を体験しています。あの大東亜戦争（太平洋戦争）です。昭和十六年十二月に始まり、約四年間続いたそうです。ひいばあは、二十六才だったそうです。ひいばあの義弟は戦争に行き亡くなったそうです。ひいばあは、防空ごうの中に隠れ、空襲から逃れていたそうです。空襲が来るとサイレンが鳴り、防空ごうに走って逃げたそうです。とてもこわい体験をしています。また、食べる物もなく、とてもひもじい思いをしたそうです。そんないろんな体験をして、積み重なったしわくちゃな手です。

こんな体験は、お父さんもお母さんもしていません。だから、このような体験をいっぱい伝えてもらい、ぼくたちも、その先の人たちに伝えていくことで、平和な世の中になるんじゃないかと思っています。

そのためには、おじいちゃん、おばあちゃんを大切にしないといけません。ぼくは、自分がおばあちゃんに出来ることをせいいっぱいしていきたいと思っています。そして、周りの人が少しでもお年寄りに優しくすることで、優しい住みやすい社会になると思います。それは決して、強制されるものでなく、自ら進んで出来るといいなと思います。

ひいばあ長生きして下さい。いつかひいばあのような手になれるようがんばります。

社協ブース

●石巻支援Tシャツの販売

@1,500×40枚=60,000円
（※Tシャツは売り上げの50%が義援金となります）

●陸前高田市支援サイダーの販売

@180×24本=4,320円



私たちボランティアがブースで復興支援



ボランティアフェスタ

出店売り上げを 石巻市災害ボランティアセン活動へ

南房総市社会福祉大会と同時に開催のボランティアフェスタでは、出店したボランティアさんたちが売り上げの一部を被災地の復興支援のボランティア活動にとご寄付いただき、宮城県石巻市災害ボランティアセンターに送金いたしました。

ボランティアブース

(単位: 円)

	団体名	金額
1	ランチサービスくら	6,000
2	ボランティア連協千倉支部	4,800
3	デイサービスとみやま・しらほま	8,700
4	なみはらっこくらぶ	3,000
5	平館むつみ会	3,750
6	あすなろの会	1,000
7	ふれあい喫茶「なごみ」	3,000
8	ふれあいランチボランティア富山	3,000
9	福祉箱	105
	計	33,355

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

2月1日
**見て楽しんで、聞いて納得！
あったかなひと時を過ごしました♪**
丸山高齢者いきいき交流会

今年度3回目の交流会には、亀田総合病院の小野沢滋氏による、医者の視線とは違った、高齢者のこれから起こりうる医療や介護の話を聞かせていただきました。

午後からは、丸山保育所の園児による、元気いっぱいダンスの披露があり、園児が登場すると会場は、一気にヒートアップ！参加者を和ませてくれました。

また、ボランティアさんによる、防災の話、軽体操もあり、最後には、和田町民舞の会のみなさんによる演芸披露では、参加者を魅了する踊りを披露

していた
だき、見
て楽しん
で、聞い
て納得の
交流会と
なりまし
た。



かわいいね～見てるだけで元気がでるよ！

2月7日・10日

アロマオイルで 心も体も マッサージ

介護者のつらい

介護にアロマをとりいれている「ケアアロマセラピー」のスタッフを講師に開催しました。

アロマセラピーは、古代からある自然療法の一つとされ、心と体のバランスを整える効能があり、香りをかいだりマッサージに使うことで、リラクゼーションしたり肩こり腰痛、眠りに入りやすくする効果があるそうです。

当日は参加された方が、少しでもリラックスできるように、たくさんあるオイルの中から、自分で好みの香りや効能を選びオリジナルオイルを作りました。実際にオイルを使ったマッサージでは「人にマッサージしてらうのって気持ちがいいね」「初めての参加で体験できて良かった」と皆さん心も体もゆったり過ごしてもらいました。

その後の

茶話会では、同じ悩みや介護で工夫していることなど体験を交えたお話を聞きました。



マッサージしながら会話でも癒しを

2月13日

あらためて知る 盲導犬の必要性

富浦・八東地区
社協合同視察研修



盲導犬の優しい目に釘付け！

富浦・八東地区社協では、視覚障害者や盲導犬への理解を深めるために、盲導犬訓練センターへ視察研修に行ってきました。実際に盲導犬と生活しているユーザーの方のお話や訓練の様子を見学。訓練士の顔を忠実に見つめ指示に従う賢い盲導犬に感動を覚えましました。

あらためて、視覚障害とはどのような障害なのか、そして生活する上でどのような支援が必要なのかを学びました。視覚障害者の方々の目となり、生活を手助けする盲導犬。まだまだ普及が広がっていない盲導犬育成の必要性を感じました。

**社協会費の
ご納入
ありがとうございました。**



一般会費 12,817,600 円
賛助会費 904,000 円
特別会費 1,060,000 円

平成23年度社協会費の納入、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、自治会の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費の納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成23年度の事業計画にそって、地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のため、有効に活用させていただきました。

この会費は事業費としての目的だけではなく、広く市民の皆様には福祉にご賛同をいただき、社協が行う福祉活動を支え、市民皆様に参加していただくこととおなじ意味を持っています。

社会福祉協議会はこれからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

地域福祉フォーラム 各地区からのレポート

福祉をはじめさまざまな分野の人たちが協力して、地域福祉を考える座談会「地域福祉フォーラム」を平成23年度各地区で開催してきました。

今回は、地域福祉フォーラムを立ち上げて2年目になる滝田地区、白浜地区、富浦地区の活動状況を報告をいたします。

住みよい福祉の里づくりの集い 〈滝田地区地域福祉フォーラム〉



他人事ではない!!みなさん熱心に聞いています

滝田地区では、地域の人々の絆を深め、健康・安全と地域の活性化を目的とした地域福祉フォーラムを開催しました。当日は、「認知症の正しい理解」と題して慶勝会理事長・田中耕一氏からご講演いただきました。「認知症は、早期発見・早期治療が大切。家族で抱え込まないで、専門家に相談しましょう。笑顔で接すれば笑顔が返ってくる。」などの貴重なお話を聞き、参加された100名近くの方々は「もっと詳しいお話も聞きたかった。とても参考になった。」など感想をのべられていました。

第2部の敬老演芸会では、地元のスター☆が自慢の歌や踊りを披露し、会場は大盛況でした。また終了後のアンケートでは、地域福祉づくりの課題もあげられました。

今、私たちにできることは 〈白浜地区地域福祉フォーラム〉

フォーラムのテーマを「大災害発生時に対する地域住民の心構え」としたのは、昨年3月に発生した東日本大震災から1年になろうとしている時期に、災害発生時に地域で暮らす私たちに何ができるか、また何をしたらいいのかを再認識し、少しでも被害を減らすことができればと考えたからです。

フォーラム当日は、心配していた天候も快晴で、協賛団体の協力もあり200名もの多くの方にご参加いただきました。講師の青木氏、3名のパネリストの方々の専門性を活かした内容のおかげで、当初の目的である「今、私たちにできることは」として災害について知識を高めることにつながりました。



専門的な視点から災害への備えを学ぶ

震災から1年。防災について再確認！ 〈富浦地区地域福祉フォーラム〉



あっという間にスリッパ完成！

富浦地区では、「NPO法人ゆかいな仲間たち」理事長・白尾克伸氏を講師に迎えて「災害時あなたにできる事は?」「緊急時、身近な物の活用法を考えよう!」と題しフォーラムを開催しました。今回は、地区社協の委員が対象で、富浦地区に津波が来たらどれ位の被害になるのか等シミュレーションしました。また、電気が止まった時に役立つオイルランプ作りや、防寒にもなる新聞紙のスリッパ作りなど、実際に役立つ体験もしました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金



ご協力ありがとうございました。

赤い羽根募金 **6,973,638円**
歳末たすけあい募金 **6,706,057円**

歳末たすけあい募金は、歳末配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生委員さん児童委員さんを通じ、お届けいたしました。

10月から始まりました赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様からのあたたかい善意をお寄せいただき、ありがとうございました。

自治会を通しての戸別募金をはじめ、市内の商店街、ボランティアの皆様、会社や各種団体そして各学校の児童会等、多くの方々のご協力を頂きました。

「たすけあいの心」でのご協力いただきましたすべての皆様に感謝を申し上げます。



広かれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアネット和ノク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届けました、活動レポートをご紹介します。

“私たちも活動しつづけます”が キャッチフレーズ

南房総市社会福祉大会と同時開催の“ボランティアフェスタ”は、今年で4回目になります。今回のフェスタに参加したボランティアさんをご紹介します。

平館むつみ会

ボランティアフェスタに参加して

私たちは、毎回、貝細工、小物（ティッシュカバー、お手玉、帽子、他）など、いろいろなものを会のみんなで手作りをして、展示販売しています。1年に1回の出店を楽しみにしてがんばっています。特に、貝細工は、みんなに喜ばれています。今度は、何を作ったのと声をかけられます。また、他の町の方々と、交流できるものも、楽しみの一つです。私たちは、この他にも演芸ボランティアをしており各施設を訪問して唄や踊りを披露しています。ちいさな活動ですが、こつこつとやっていきたいと思ひます。また、ボランティア行事がありましたら協力していきたいです。ありがとうございました。



手話の会「しらはま」



手話にはやさしい心が話まっています

手話で広がる交流

第6回南房総市社会福祉大会において、私たちがボランティア活動している手話の会「しらはま」が表彰を受けました。

本会では、聴覚障害者の方とのさまざまな行事、交流などに参加させてもらい、交流のなかで私たちが教えてもらうことがたくさんあり、ともに勉強させていただいています。会員数は多いとはいえませんが、ひとり一人が楽しく手話に取り組んでいます。

これからも、もっともっと活動に励みたいと思ひます。

サークル会員募集中!

手話に興味のある方、見学だけでもお気軽にどうぞ。

申込 ■手話の会「しらはま」(加藤) ☎ 38-4680
問い合わせ ■白浜地域福祉センター ☎ 30-5122

ボラ登録
更新のお知らせ

市内で福祉活動を展開しているボランティアさん!

平成24年度ボランティア登録受付が始まります ~ 4月1日から ~

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動の支援を図るため、平成24年度のボランティア登録の受付をします。

登録には一定の要件を満たすことが原則となっておりますが、登録された場合、下記の支援が受けられます。

●登録のメリット●

- ①社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ②社会福祉協議会が発行する情報誌等の広報支援、活動に関する相談、助言
- ③ボランティア活動助成金の支援
- ④社会福祉協議会ボランティア連絡協議会との情報交換、相互交流

登録を希望されるボランティア(団体・個人)の方は、お近くの社会福祉協議会各地域福祉センターで登録の手続きができます。ぜひ、この機会に登録してみませんか?



ホームヘルパーの ワンポイント かいGO 介護

食事編②

～誤嚥を予防する食事介助について～

高齢になると疾病や老化などの原因により誤嚥することが多く、生命を危うくすることもあります。

今回は、食事の内容、とろみ剤などの工夫をご紹介しました。そこで今回は安全に食事をするための介助についてご紹介します。

座り方

食事の介助の姿勢は座位とし、座布団などを用い安定した姿勢にします。反り返った姿勢では、むせやすくなります。

飲み込みやすくするには

液状のもので口腔内と食道を湿らせると食べ物顺利通过しやすくなります。口に入れる量は少なく、食べ物を口に入れたら、ゴクンと飲み込んだことを確認してから、次のものを入れます。食事のペースが早くなれないよう心がけることが大切です。

また、介助する時は、目線の高さを合わせることも重要です。



問い合わせ

- ホームヘルプサービスとみやま
TEL 5 0 - 5 2 1 3
- ホームヘルプサービスみよし
TEL 3 6 - 2 2 7 6
- ケアプランのご相談は…
TEL 5 8 - 0 9 8 9

交付申請のお知らせ

紙おむつ給付事業

高齢者介護用品支給事業

紙おむつ給付事業等は下記に該当される方に給付を行っています。給付をご希望の方は、下記の提出書類をそろえてお申込み下さい。

	紙おむつ給付事業	高齢者介護用品支給事業（非課税世帯）
対 象 者	市内に居住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に無料で紙おむつを給付します。 ① 1 日中ベット上で過ごされ日常生活のほとんどに介護を要する介護保険法で定められた要介護認定 3・4・5 の方 ② 身体障害者手帳 1 級・2 級の方 ③ 精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方	① 65 歳以上で要介護度 4・5 の方 ※前年度市民税非課税世帯に属する高齢者または介護者
品 目	① 紙おむつ（サイズにより約 50 枚から 60 枚） ② 尿とりパット（約 80 枚） ③ フラットタイプ（約 120 枚） ※上記①から③のうち、1 品目の支給	① 紙おむつ②尿とりパット③紙パンツ ※ 1 回あたり 25,000 円以内
提出書類	① 紙おむつ給付申請書 （民生委員の意見が必要になります。） ② 介護保険証または障害者手帳などの写し	① 高齢者介護用品支給申請書 ② 介護保険証の写し ③ 購入希望先業者の見積書

■申込期限 平成 24 年 4 月 27 日（金）まで

■給付月 平成 24 年 6 月 ※給付期日については、後日郵送でお知らせします。

■申込先 社会福祉協議会各地域福祉センター（P 8 参照）

■問い合わせ 南房総市社会福祉協議会（本所） 電話 4 4 - 3 5 7 7

たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成23年12月～平成24年2月

千倉ゴルフクラブ	70,600 円
体協ゴルフ部白浜支部	16,864 円
(株) おどや	50,000 円
鋸南ロータリークラブ	30,000 円
(有) 外立商事	10,000 円

富浦町建設協同組合	35,500 円
石井勝カラオケ教室	30,052 円
三石山観音寺	50,000 円
石井カラオケグループ	102,375 円
匿名 21 件	124,843 円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。
ありがとうございました。

地域の「ちょっといい話」

元気よく「おはよう!!」とハイタッチ



やさしいまなざしで見守り活動中

「子どもたちが無事に学校に到着すること、いつでもどこでも知人に会ったら自然に挨拶ができるようになって欲しいから」と話すのは、毎朝小学生の登校の見守りを行っている千倉地区にお住まいの武内章さん。

始めた当初は、挨拶をしても恥ずかしく下を向いていたり、小さな声でしか挨拶ができなかった子どもたちも、今では元気よく「おはようございます」「いってきます」と大きな声で気持ちよく挨拶ができ、数人の子とはハイタッチができるまでになったそうです。

毎日見守りしている武内さんの思いが子どもたちにも伝わってきているようですね。

編集後記

★震災から一年、復興、絆、支え合い。まだまだ続く復興への道。自分にできることは？震災の教訓から学んだことを忘れず日々の生活、社協の業務の中でも、生かせるように努めたいと感じています。(A)

★社会福祉大会では、“私たち社協がその時できたこと”災害支援活動の様子をパネル展示しました。このパネルで紹介した災害救援活動には、いろいろな支援のかたがいましたが、市内外の方からたくさんの支援をいただいたことに改めて感謝いたします。(T)

★社会福祉大会の記念講演で高齢者の知恵で避難時の生活を乗り切った話がとても心に残りました。自分があばあちゃんになった時、知恵袋が出せるようしっかり今から伝え授かっておこうと思いました。(H)

【各種相談】

◆心配ごと相談 ～日頃の悩みや困りごとは～
時間／13:30～16:00

4月	5月	6月	場 所
11日(水)	9日(水)	13日(水)	とみうら元気倶楽部
11日(水)	10日(木)	13日(水)	ちくろ介護予防センター
13日(金)	10日(木)	8日(金)	富山公民館
18日(水)	16日(水)	20日(水)	白浜保健福祉センター
20日(金)	18日(金)	15日(金)	三芳保健福祉センター
20日(金)	21日(月)	20日(水)	丸山公民館
25日(水)	23日(水)	27日(水)	和田地域福祉センター

◆無料法律相談 ～法律に関することでお悩みの方へ～
時間／13:00～16:00

予約・問い合わせ：44-3577

開設日	場 所	事前予約受付
5月9日(水)	ちくろ介護予防センター	4月16日(月)
7月18日(水)	とみうら元気倶楽部	6月18日(月)

○予約申込：事前に予約受付日に午前9時から受け付けます。

○定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

◆結婚相談 ～よい出会いを応援します～

時間／10:00～12:00 問い合わせ：44-3577

4月	5月	6月	場 所
6日(金)	11日(金)	1日(金)	ちくろ介護予防センター

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

4月
より

富山地域福祉センターの 事務所が移転します。

このたび、南房総市社会福祉協議会富山地域福祉センターが下記の住所へ移転します。

移転に伴い、市民の皆様にご迷惑をおかけいたしますが、変わらぬご支援を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

◆〒299-2216 南房総市久枝327富山地域センター(富山公民館)内
電話 57-2926 FAX 57-2926

(従来とかわりありません)

発行編集

社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 FAX 44-3542

◆富浦地域福祉センター ☎33-4565

◆富山地域福祉センター ☎57-2926

◆三芳地域福祉センター ☎36-2276

◆白浜地域福祉センター ☎30-5122

◆千倉地域福祉センター ☎44-3541

◆丸山地域福祉センター ☎46-2200

◆和田地域福祉センター ☎47-3390